



神田をモガ(馬鍬)を引いて耕す造り牛(お田植)

飯倉神社で毎年7月に行われる「御田植祭」は、御神田でのお田植えや田の神舞など、さまざまな祭りの要素が結びついて構成されていることが特徴です。祭りは拝殿での祭典からはじまり、境内での棒踊りの後、先導役の猿田彦(さるたひこ)を先頭に祭神の一行が御神田へと向かう様子が演じられます。

この中のひとつで市指定の文化財にもなっている「宮棒踊り」は、



棒踊りの様子
※2019年は宮小路集落が行う予定。

さまざまな祭りの魅力が結びついた伝統行事

南九州市川辺の宮にある飯倉神社は、地域で古くから信仰の厚い神社で、東殿に天智天皇、中殿に玉依姫、西殿には稲の神である倉稻魂命(うらのたまのたま)が祭つてあるといわれています。

宮地区の3集落(宮中福良、松崎、宮小路)が毎年交代で奉納する神事で、棒踊りの氏子たちは2メートルほどの棒の上端を片手で垂直に持ち上げ、力いっぱい地面へ突き下ろす動作を繰り返します。これは大地を突き、地霊をしずめ、同時に豊作を祈願する儀式であるといわれます。

棒踊りにあわせて歌うお囃子のリズムが実に心地よく、会場全体が和やかな雰囲気になります。



【南九州市川辺】

飯倉神社 御田植祭

市指定無形民俗文化財

五穀豊穰を祈る
飯倉神社の伝統行事
「御田植祭」を
ご紹介します。

祭りの舞台

飯倉神社

開催日： 2019年7月7日(日)
※例年7月の第1日曜日に開催

住所： 南九州市川辺町宮4778

駐車場： 20台(無料)

T E L： 0993-83-4433(南九州市教育委員会文化財課)

